

# 『アルプラクラス』『アリッツ』 デザイン窓用連窓用平面方立 組立取付説明書

MN-1621

■本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行なっていただく事」を示しています。

## 部材セット一覧

連窓方立	連窓方立カバー	バック材	Lアングル (R勝手用)	Lアングル (L勝手用)
1本	1本	1本	1本	1本

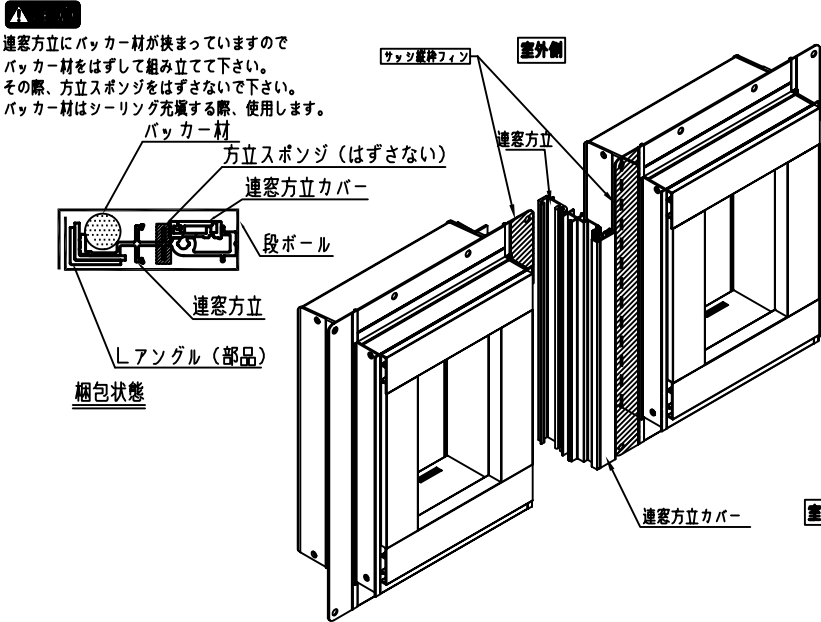
## 部品セット一覧

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
連窓方立上下キャップ	方立ジョイントビス	方立7mmジョイントビス	発泡部品	連窓方立下面スポンジ	上部キャップ	下部キャップ
数量: 2本	数量: 4本	数量: 3本	数量: 1個	数量: 1個	数量: 1個	数量: 1個

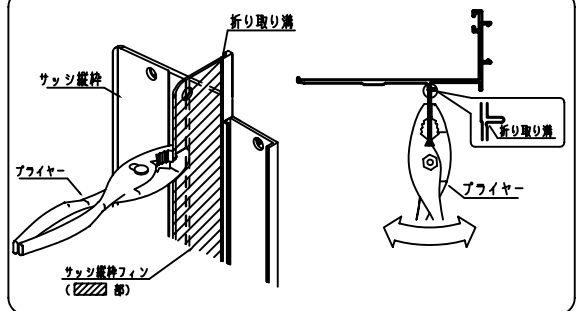
## 連窓の組み立て

### ① サッシ縦枠アングルの組立と縦枠フィンのカット

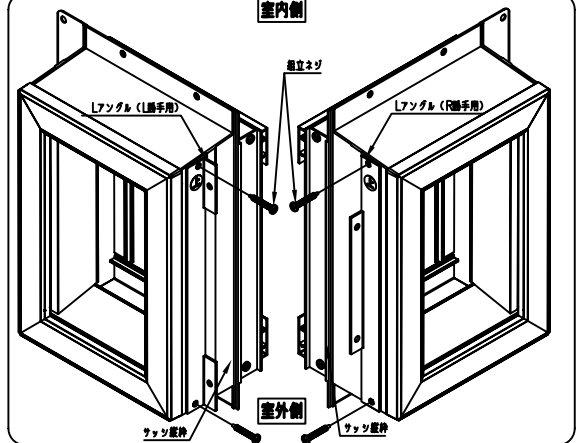
- ① 連窓連結部のサッシ縦枠フィン 部をプライヤーで折り取ります。  
ポイント) 枠フィンの折り取り溝にあらかじめカッターで切れ目を入れると折り取り易くなります。
- ② 連窓連結部のサッシ縦枠の外側側の組立ネジをはずし、Lアングルとサッシ縦枠を先程ははずした組立ネジで組立直し、Lアングルと縦枠を一体化します。  
(Lアングルは 上 と表示したものが上になるようにしてください。)



### ●サッシ縦枠フィンの折り取り



### ●サッシ縦枠アングルの組立



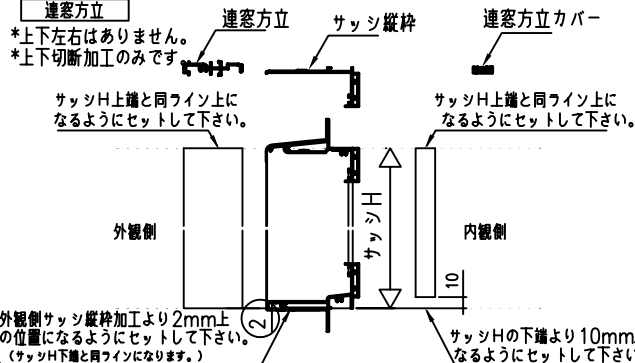
## ② 連窓の連結

- ① 最初に連窓方立の内側右側にサッシ縦枠を引っ掛けて  
②の方立ジョイントビスで2箇所ビス止めしてください。

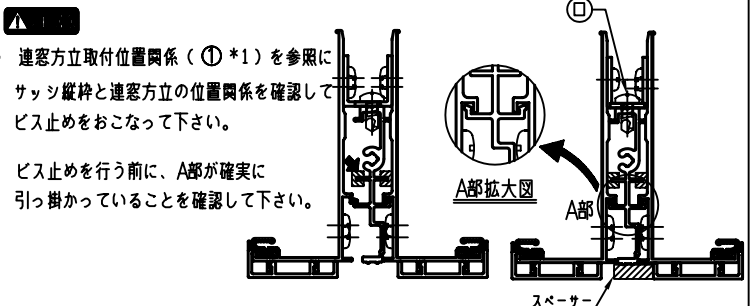


ビス止めを行う前に、A部が確実に引っ掛かっていることを確認して下さい。

### ※1 連窓方立 (カバー) の取り付け位置関係

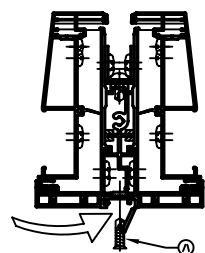


- ②次に連窓方立の内側左側にサッシ縦枠を連結させ、①の方立ジョイントビスで2箇所ビス止めしてください。



- ③方立カバーの連結  
方立カバーを開いて、内観側から ① のビスでビス止めを行います。

方立カバーを開いて  
ビス止めします。

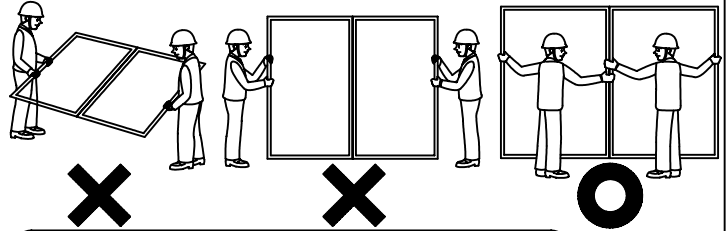


■サッシの組立て及び取付時には、以下のドライバーは使用しないで下さい。  
又、樹脂部材へのネジの締めすぎにも注意して下さい。組立ネジ及びサッシが破損します。

- インパクトドライバー
- 高トルクの電動ドライバー
- トルク調整の出来ないエアードライバー

- ◆適正なトルクは、  
●枠取付木ネジ 2N・m (20kgf・cm) 以下でお願い致します。

■組立て後の取扱ひとお願い。  
・組立て後、サッシ枠を横にして持ったり、連窓連結部に無理な力をかけないでください。  
サッシ枠を移動する場合は、サッシ枠を立てた状態にして連窓連結部分をしっかりと支えて移動してください。



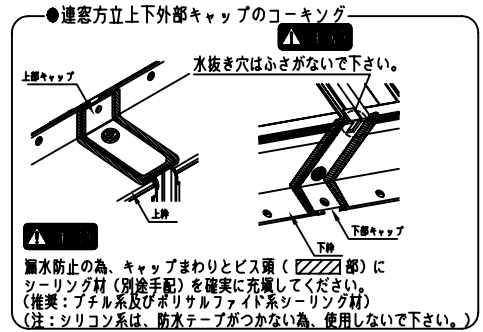
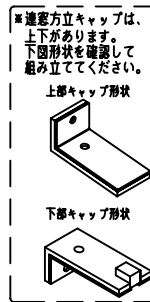
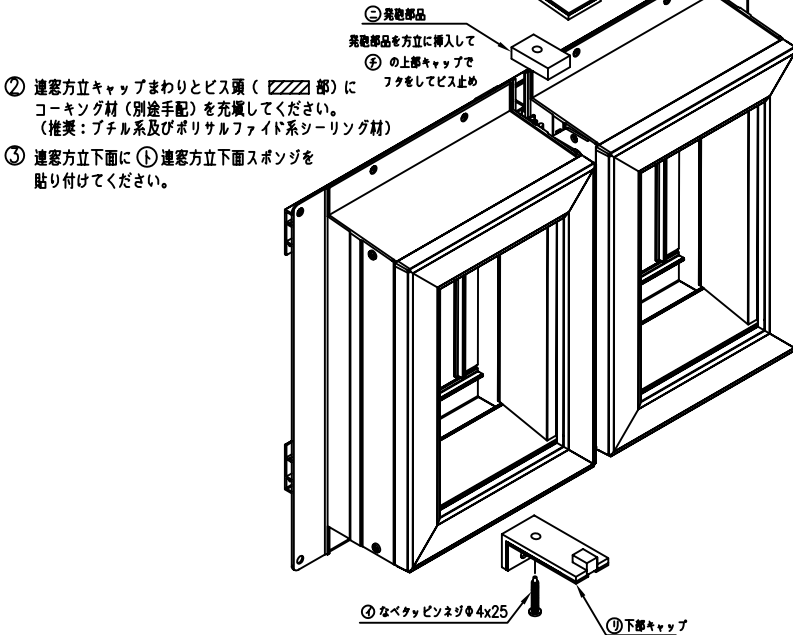
サッシ周及びキャップまわりに充填するシーリング材を手配願います。  
推奨シーリング材：ポリサルファイド系シーリング材

■本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行なうべき事」を示しています。

窓方立キャップの組立・シーリング及び窓方立下面スポンジの貼り付け

- ① 窓方立キャップを窓連結部に差込み組立用孔と合わせ、④のネジで組み立ててください。

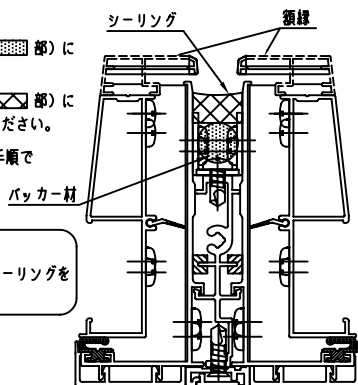


方立外観側のシール処理

- ① 右記、(裏側の外し方)を参照し、額縁を外して下さい。

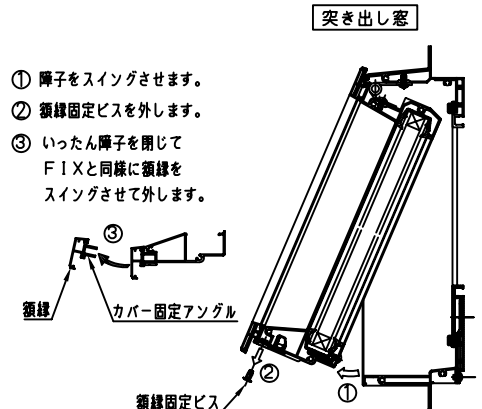
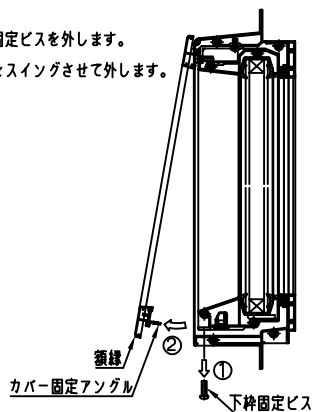
- ② 方立の外観側から(シール部)にバック材を入れます。
- ③ 方立の外観側から(シール部)にシーリングを充填してください。
- ④ 額縁を外した時と逆の手順で取り付けて下さい。

サッシの額縁材を外してシーリングを充填して下さい。



額縁の外し方

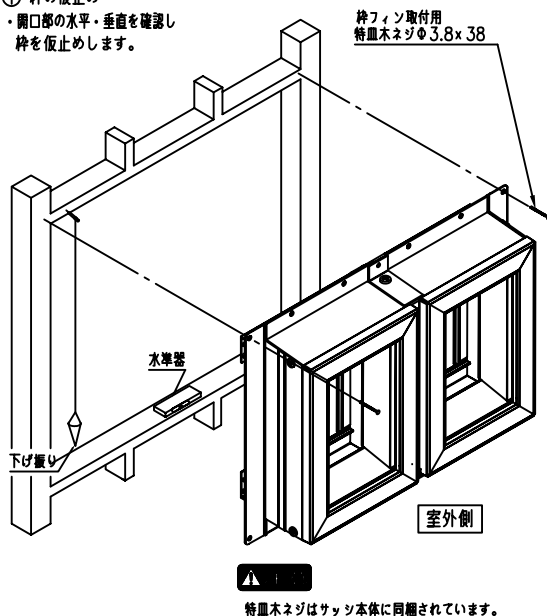
- ① 下枠固定ビスを外します。
- ② 額縁をスイングさせて外します。



窓の取り付け

サッシ枠の取り付け

- ① 枠の仮止め
  - ・開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。



② 枠の調整と固定

枠取付注意事項

サッシの性能保持のため、枠を仮止め、下記の1~4を必ず確認した後に取付けを行なってください。

- 1: 下枠の取付は、必ず水準器を当てて、水平にしてください。
- 2: 必ず対角寸法A、B差を3mm以内に押さえてください。
- 3: 枠の内法幅を測定しa、b、cの差を±1.5mm以内にしてください。
- 4: 枠のねじれ、たおれ、ゆがみに注意して固定してください。

